

教科	製図	単位数	2	学科・学年	電子機械科・2年	担当者	佐々木 秀治	
使用教科書	機械製図（実教出版）		副教材	基礎製図練習ノート（実教出版）				
到達目標（具体的な取組【評価規準を念頭に置いた指導上の留意点】） 製図に関する日本工業規格および各専門分野の製図について基礎的な知識と技術を習得させ、製図、設計図などを正しく読み、図面を構想し作成する能力と態度を育てる。 ・立体を平面上に正しく表すことができるように基礎的な作図技能を修得させる。 ・寸法、面の肌、はめあいなどの作図に必要な記号の記入方法を習得させる。 ・学習過程、学習状況や製作図など、学習内容を総合的に評価する。							評価の重点	
学期	月	学習項目 (単元名、教材、学習領域)	主な学習活動・評価のポイント	評価方法	関心・ 意欲・ 態度	思考・ 判断	技能・ 表現	知識・ 理解
前期 中間	4	第1章 製図の基礎 1 機械製図と規格 2 製図用具とその使い方 3 図面に用いる文字と線 4 基礎的な図形のかき方	・文字・線を反復練習させ、製図用具を使用した作図作業に慣れさせるとともに、製図に用いる文字や線を学習させる。 ・授業の取り組み状況、課題提出により理解度を評価する。	観察記録 自己評価 課題提出	○	○	○	○
	5							
	6							
6	第1章 製図の基礎 5 投影図のかき方 6 立体的な図示法 7 展開図							
7								
8								
9								
後期 中間	9	第2章 製作図 1 製作図のあらまし 2 図形の表し方	・実際に図面を製作しながら、製図における表現方法を実践的に学習する。 ・授業の取り組み状況、課題提出により理解度を評価する。	観察記録 自己評価 課題提出	○	○	○	○
	10							
	11							
学年 末	11	第2章 製作図 3 寸法記入法 4 公差・表面性状	・実際の図面を製作しながら、寸法記入法や各種記号を理解し学習する。 ・授業の取り組み状況、課題提出により理解度を評価する。	観察記録 自己評価 課題提出	○	○	○	○
	12							
	1							
	23							

【工業：電子機械科】

平成 25 年度

指導と評価の年間計画（シラバス）

盛岡工業高校 全日制課程

教 科		製 図	単位数	2	学科・学年	電子機械科・3年	担当者	藤 原 徳 久					
使用教科書		機械製図 実教出版			副教材	基礎製図練習ノート 実教出版							
到達目標（具体的な取組【評価規準を念頭に置いた指導上の留意点】） 製図に関する日本工業規格および各専門分野の製図について基礎的な知識と技術を習得させ、製作図、設計図などを正しく読み、図面を構想し作成する能力と態度を育てる。 ・製図に関する規格に従って、製作図を正しく読み、かくことができる。 ・機械要素の種類・構造・用途および規格などを理解し、それらの製図を正しく読みかくことができる。 ・CADシステムの概略を知り、それによる図面の作成ができる。 ・学習過程、学習状況の成果について、自己評価の内容を包含して、総合的に評価する。										評価の重点			
学期	月	学習項目 (単元名、教材、学習領域)			主な学習活動・評価のポイント		評価方法		関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解	
前期 中間	4	第3章CAD製図 1 CADシステム 2 CADの機能と利用			・CADシステムの概要と多様な機能を理解し、基本的な操作に習熟する。 ・授業への取り組み状況、意欲的な学習態度と課題提出による理解度を評価する。		観察記録 自己評価 課題提出		○	○	○		
	5								○	○		○	
	6								○	○	○	○	
前期 末	6	第4章機械要素の製図 1 ねじ 2 軸と軸継手			・CADシステムを使用して、多くの課題をこなすことにより、応用できる能力を養う。 ・授業への取り組み状況、意欲的な学習態度と課題提出による理解度を評価する。		観察記録 自己評価 課題提出		○	○	○		
	7								○	○		○	
	8								○	○	○	○	
	9								○	○	○	○	
後期 中間	9	第4章機械要素の製図 3 軸受 4 歯車			・CADシステムを使用して、多くの課題をこなすことにより、応用できる能力を養う。 ・授業への取り組み状況、意欲的な学習態度と課題提出による理解度を評価する。		観察記録 自己評価 課題提出		○	○	○		
	10								○	○		○	
	11								○	○	○	○	
学年 末	11	第4章機械要素の製図 5 プーリ・sprocket 6 ばね			・CADシステムを使用して、多くの課題をこなすことにより、応用できる能力を養う。 ・授業への取り組み状況、意欲的な学習態度と課題提出による理解度を評価する。		観察記録 自己評価 課題提出		○	○	○		
	12								○	○		○	
	1								○	○	○	○	
	23								○	○	○	○	